

Leica Viva TS15 Lite Pinpoint R1000

モータードライブ・トータルステーション エントリーモデル

TS15 Lite 3" R1000
TS15 Lite 5" R1000(2nd Panel付き)



- 最速&画像解析による自動視準(ATR)搭載
- プリズム (標準) 1mm + 1.5ppm
- ノンプリ 1000m 2mm + 2ppm
- レーザーポインター搭載(赤色可視光レーザー)
- ガイドライト(EGL)標準搭載
- エンドレス微動ネジ
- 国土地理院 TS登録 2級A
- Bluetooth,USB memory & mini,SD Card,RS232(Lemo)
- 内蔵1GBメモリー
- 作業規程準則準拠 放射対回プログラム(オプション)・・・APA出力対応
- USBメモリー経由でSIMAファイル入出力





LT 基本ソフトウェアは、SmartWorxViva LTです。SmartWorxViva へのアップグレードもご用意しております。LTライセンスは、アプリ&機能のダウンサイジング版です。

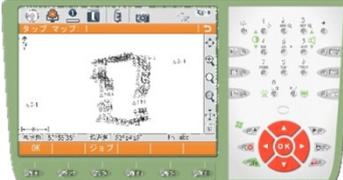


Full

SmartWorxViva(LT含む)は、現状&アプリケーションをアイコン表示する他、アプリケーションを使用目的ごとにまとめているので、初めてご使用になるお客様にもわかりやすく使用いただけます。また、各種表示切替も可能ですので、お客様のニーズに合わせる事ができます。



各アプリケーションにおいては、内容をグラフィカルに案内しており、視覚で使用したいアプリケーションを選択できます！

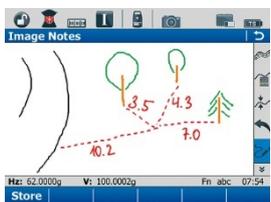


- Full VGA解像度の見やすいカラータッチパネル搭載
- 太陽光に当たっても見える液晶を採用！
- 操作しやすいキーボードで、パネル全体の照明機能搭載
- 大音量スピーカー搭載で、音声でもアシスト



TPS1200からのFunction(F7~12)へのコマンド割り当てはそのままに、いつでも ボタンを押すと、よく使用するコマンドが表示&選択することができます！

■ 画面キャプチャー & スケッチ機能



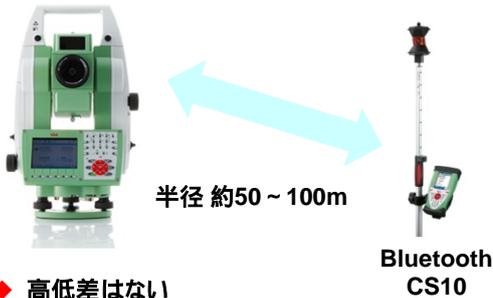
画像は既知点などにクリップ可能
クリップした測点名でファイル名が付きますので、後処理が楽です！
スケッチは約30色、線幅・線種の選択も可能です。

■ バッテリー



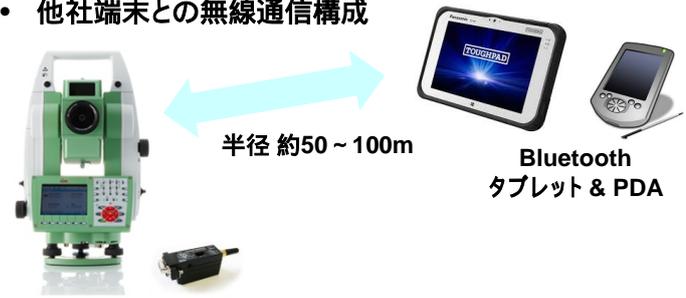
Li-ion(リチウムイオン)
各製品共通
TS15シリーズは2個標準

• 通常の無線通信構成



- ◆ 高低差はない
 - ◆ 視通がある
 - ◆ 高速(到達時のみ)
- メリット デメリット

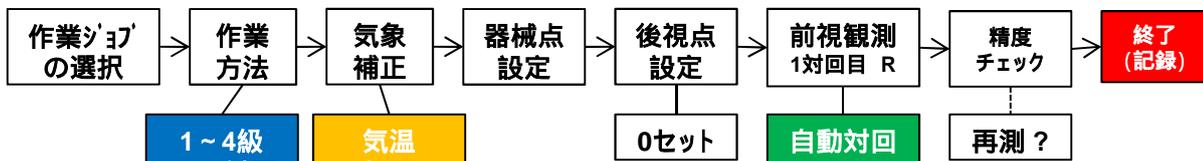
• 他社端末との無線通信構成



TS15 標準搭載 Bluetooth or Parani SD1000(別途通信ケーブル)
Bluetoothのclassにより到達距離は異なると思われます。
モータードライブ制御は別途TS15にオプションが必要。
TS15との接続に関しては、端末システム会社へ確認下さい。

◆ APA出力する場合は、放射対回オプションで！

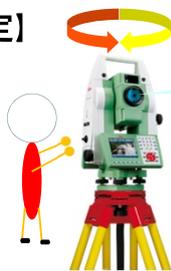
放射対回オプションでは、処理がウィザード方式で進みます(設定したい項目を選択可能となっています)



作業方法で1~4級を選択すると、自動的に公共測量の対回パターンとなります。
デフォルトで登録されています！
1~3対回は任意に鉛直対回数、距離セット数、精度を設定する方法です。
放射は距離セット数を1 or 2より選択します(境界測量などは2で設定)

◆ 2人で現場へ行くのなら、TS15 Liteで大丈夫！！

【測定】

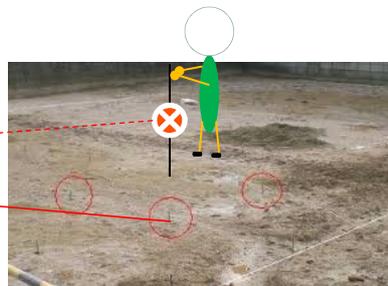


自動視準(ATR)モードで、プリズム方向へザックリ向けて測定します。
望遠鏡をのぞいて、ピントを合わせる必要はありません。
するとTSは自動的にプリズムを視準して測定を行います。
デフォルトでは水平角&鉛直角 4° 以内のプリズムを自動視準します。

自動視準(ATR)がオンの状態



【測設】



器械点設定を行い、測設でターゲット測点を選択すると、TSは自動的にターゲット方向へ旋回します。

自動旋回設定を行った場合

ガイドライト(EGL)やレーザーポインターを使用して、ターゲット方向へプリズムマンが移動します。
後はターゲットへの残差を確認しながら、ターゲットへ近づきます。

または、ターゲットへ旋回した後、ノンプリ(トラックモード)を使用しながらターゲットへ近づき、
最終的にプリズムに切り替えても良いでしょう！